

## 事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：三沢市立図書館管理運営業務事業）			
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀			
実施場所	三沢市桜町一丁目5番43号			
補助事業の成果の目標	<p>三沢市立図書館は、地域住民の教育と文化の発展を目的に昭和57年に設置され、三沢市公会堂と並び、長年にわたり地域住民に愛され、親しまれている文化施設である。</p> <p>本施設では民間活力の導入によるサービス向上を目指し、平成20年度から指定管理者による施設管理を行っており、司書等の専門的知識を有する管理者が幼児や児童を対象にした“語り聞かせ事業”、小中学生を対象にした書籍を活用して自ら考える力を伸ばす、“調べる学習コンクール”といった多様な事業を展開している一方、施設の老朽化などにより維持管理経費が増加するとともに、電子書籍の普及により利用者数も減少傾向にあることから、サービスの多様化も求められているところである。</p> <p>このことから、調整交付金の充当により、地域住民に愛される図書館事業を継続し、地域住民の活用や利用満足度の向上を目指しつつ、地域住民の豊かな人生の増進を図るものである。</p>			
補助事業の内容	三沢市立図書館管理運営業務 一式			
補助事業の始期及び終期	令和3年度			
事業費及び交付金額		令和3年度		計
	事業費	円 19,049,659		円 19,049,659
	交付金額	13,000,000		13,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果】教育委員会・県立三沢航空科学館と連携した調べ学習「みさわわくわくサマーゼミナール」や三沢市とも連携した「太平洋無着陸横断飛行90周年記念」の展示などの事業を展開することにより、幅広い世代への読書機会や図書を活用した学習機会を提供できた。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、約2ヵ月間もの間、休館を余儀なくされたため、前年度よりも更に利用者は減少し（前年度：71,303人→R3年度：51,020人）、また、貸出冊数も減少した。（前年度：87,799冊→R3年度：71,118冊）</p> <p>【評価】施設利用者に対しアンケート調査を行った結果、資料・接遇・サービスについての設問では、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度割合が約68%と前年度よりも11%減少した。その要因として、休館中の本の貸し借りが出来なかったことへの不満の声が多かったからと考えられる。今後の対策として、電子図書館のサービス拡充を行うとともに、電子図書館の利用申請を周知し登録者数を増やし、来館せずとも貸し借りできるサービス環境を整えることにより、地域住民の活用や利用満足度の向上を目指す。</p> <p>【周知の実施状況】ウェブサイトや市広報紙などで調整交付金事業である旨を掲載した。</p>			
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の生活環境を維持し、適正な維持管理を実施する。			

事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無
-----------------------	---